

旭川 指導員研修 不整地（応用発展技術）

3/30（日） カムイスキーリンクス

講師 山田 洋氏

雪不足で日程を変更しての実施でしたが、強風の為ゴンドラが止まり、第2リフトのみの運行の中不整地の研修を行いました。4名の指導員が参加しました。

関西ブロック 初中上級指導員検定会

北海道から2名の挑戦！

2025 4/5～6 志賀高原一の瀬スキー場

～素晴らしい志賀高原での貴重な体験～

上級指導員 三浦裕子（札幌スキーフレンド）

上級指導員を目指してから、苦節7年目にして、長野県の志賀高原で行われた関西ブロック初中上級指導員検定会で無事合格することができました。

2月に行われた北長沼スキー場での検定会では、応用種目の不整地小回りのコブ斜面で飛び出すという失敗の滑りで、結果は不合格でした。落胆する間もなく、4月の志賀高原でのラストチャンスに掛けましたが、仕事もありなかなか練習日も多くは確保できず、鬼門であるコブも思うように

滑れず、それでも、一緒に行くことになったオフピステの塩野谷さんと志賀高原での検定会に向けて書類上の準備等を粛々と進めていきました。島崎会長には身に余るほどの推薦文を書いてもらいました。大塚さんや立岡さんには応用種目の滑りについてアドバイスをいただき、最後に大塚さんから「やるだけやったのだから、旅行気分で気楽に行ってください」と送り出されました。

検定会場の志賀高原一の瀬までは、東京から新幹線で長野駅まで行き、そこから急行バスで約90分。標高1700mに位置する宿は、スキーメイトにも載っている「ホテル山楽」。降車したバス亭の目の前にあり、スキー協とは長年の付き合いから料金設定も低く、食事大変美味しく、信州名物のおやき、野沢菜、りんごなどなど、3泊4日気持ち良く過ごすことができました。そして今回は関西ブロック主催ということで、大阪、京都、兵庫、滋賀、愛知、和歌山など総勢40名ほどのスキー協会員が大集合。検定会だけでは行事としては成り立たないため、検定班の他、STT班、指導員研修班、レベルアップ班、ポール班など行事を組んでいました。東京スキー協も別行事で来ていたので、ほぼ宿泊客はスキー協で占められていました。

検定受検者は14名（上4名、中7名、初3名）、前日には朝9時から計4時間の予定で事前講習も行われました。検定日程は、1日目午前、教程種目、午後から指導法実技、夜は筆記試験、2日目応用種目とSTTとなり、検定バーンは、一の瀬ダイヤモンドスキー場とコブのみ一の瀬ファミリースキー場で行いました。最終日にSTT参加者が転倒しパトロールに運ばれるというアクシデントもありましたが、天候にも恵まれ、予定通りに終了し、12時半に合格発表となりました。私の苦手なコブは最後に行われ、ズルドンでどうにか飛び出すことなく滑り切り、平均点で上級指導員の基準75点をクリアでき、塩野谷さんも中級合格し、2人で朗報を北海道の皆さんに届ける事ができ安堵しています。

初めて訪れた志賀高原はとても雄大で圧倒されました。また、関西や東海ブロックのスキー協の方々と交流もでき、貴重な体験となり、行って良か

ったと心から思っています。

今まで支えてくれた全ての皆さまに感謝し、これからは恩返しができるよう精一杯スキー協発展のため頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

志賀高原での体験・最高でした！

中級指導員 塩野谷勝子（オフピステ）

2025年北海道ブロック指導員検定不合格により関西ブロック検定再挑戦のために見たこともない志賀高原へ行ってきました。誰もがスキーにあこがれのきっかけになった「私をスキーに連れてって」のロケーション現場のスキー場での受検という大それた行動でしたが素晴らしい体験でした。一緒だった三浦理事長との道中もまた楽しや、東京から1時間20分の新幹線を有効にお弁当とビールで出発式の乾杯。あっという間の長野駅、そこからバスで栃木県日光のいろは坂クラスのヘアピンカーブを1時間半で到着したのは標高2000メートル地点の温泉ホテル山楽。まずは安着祝いとしゃれました。安着の夜には北海道の仲間からの愛溢れる応援のコール、涙しながらうれしかった！ 頑張ろうと元気が湧いてきました。

さすが、関西ブロックは凄い。宿は検定班14名、指導員研修班5名、レベルアップ班12名、ポール練習班7名の総勢38名の合同で全国スキー協の貸し切りに驚き、夕食の団欒でも北海道から!!と大歓迎されました。

翌日はいよいよ事前講習会。全員集合の夕食で盛り上がりすっかり仲間にならせてもらいました。本番の検定後でも三浦理事長の人気で私もご相伴にあずかり楽しい仲間にならせていただき、なんとラッキーレディ(ばあちゃん)でした。

日本最大級のスノーリゾートといわれるスキーのメッカとはここなんだ～と感嘆。

奥志賀と中央エリアとサンバレーと3か所のエリアがあり、私たちの会場

は中央エリアで、ここだけでも東京ドーム90個分の膨大な広さ、標高2000メートル地点に温泉が点在して、そこからスキーを担いで3～5分でゲレンデ到着。羊蹄山で1890メートルの標高ですよ!! 13か所のスキー場・ゲレンデコースが33か所・ゲレンデを結ぶ中間には林間を抜けての深雪コースです。受験後は歓声をあげながら滑りまくりでした。全国の仲間に歓待され毎日温泉につかり、食事も満足。リッチな4日間の日々、素晴らしい体験オンリーで、まさにピンチがチャンスでした！ 思いがけないピンチが全国の仲間に巡り合い夢のような体験ができたラッキーな私でした。新しい仲間巡り合えて同じ世界を語り、笑い、滑り、学び、楽しい・たのしい時間でした。合格できた喜びも大きかったけれどこんどは受験でなくても行きたいところと感じた思い出いっぱいでした。

これまでは自分のレベルアップのための挑戦でしたが、これからは仲間のため、スキー協のために恩返しをしたいと思いながら帰ってきました。

北海道の仲間はもちろん、全国の仲間の皆さんありがとうございました！！

応用発展研修を未研修で外部講習等を受講

した方は、全国スキー協指導員届け出様式16を

使用し、領収書等受講したことを証明する物を添付して

提出して下さい。→ 教育部へ